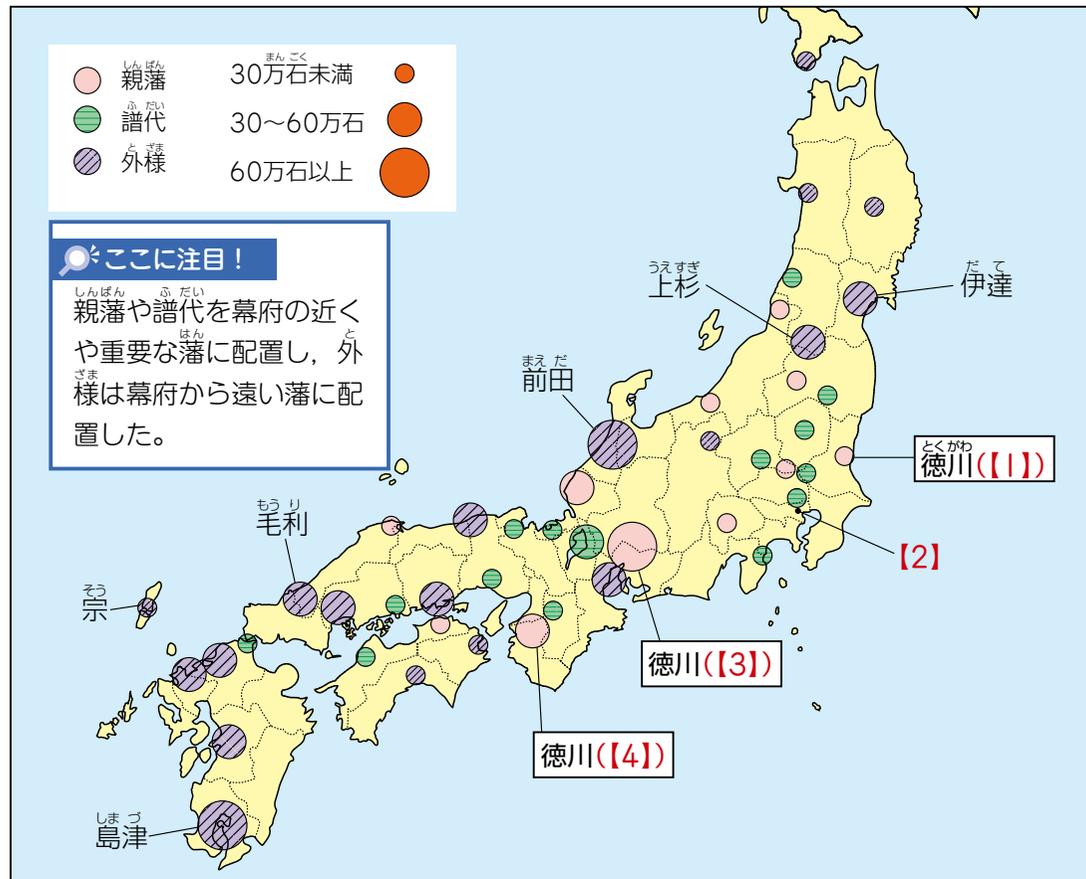
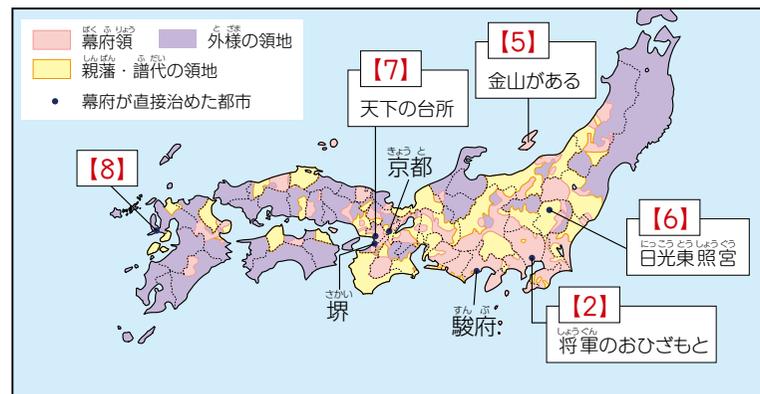




関ヶ原の戦いに勝利した徳川家康は、1603年に征夷大將軍に任じられ、江戸幕府を開きました。江戸幕府の大名支配など、幕府のしくみを確認しましょう。



主な大名の配置 (1664年ごろ)



幕府領と大名の領地 (1664年ごろ)

関連 ➡ 76ページ 主な都と幕府の位置

幕藩体制

- 江戸幕府は、全国の土地を領地として大名に分けあたえ、治めさせました。幕府があたえた領地を【9】といい、このような支配の制度を【10】体制といえます。
- 幕府が直接治めた土地や都市を幕府領(天領)といえます。幕府領には、「将軍のおひざもと」と呼ばれた【2】や、「天下の台所」と呼ばれた【7】があります。さらに、外国との貿易港のある【8】、金山のある【5】なども幕府領とし、そこから得られる収入を幕府が独占していました。

大名統制

- 江戸幕府は、大名を徳川氏との関係に応じて、【11】、【12】、【13】の3つに分けました。
- 御三家など徳川氏の一族である【11】や、古くから徳川氏に従っていた大名である【12】は幕府の近くや重要な藩に配置され、重要な役職をあたえられました。
- 関ヶ原の戦い前後に徳川氏に従った大名は、【13】として幕府から遠い藩を治めさせました。

ポイント 大名の配置とその意味をおさえておこう!

- 親藩・譜代…江戸の近くに配置、外様…江戸から遠い場所に配置
- 徳川御三家…尾張・紀伊・水戸を治める
- 江戸・大阪・長崎・佐渡…幕府領とされ、幕府が直接治める

武家諸法度による大名統制 さらにチェック!

幕府は、大名が反抗できないよう、さまざまなくふうをしていました。その1つに、3代將軍の徳川家光が武家諸法度に加えた、参勤交代という制度があります。参勤交代とは、大名に藩と江戸とを1年おきに往復させることを義務付けた制度のことです。大名行列にはお金がかかり、大名にとっては大きな負担になりました。特に幕府から遠い外様にとっては、より負担の大きいものでした。

入試ではここが問われる!

- 大名の配置図などの資料を見て、江戸幕府がどのように大名支配を行っていたかを記述させる問題や、御三家の位置を問う出題などがあります。



16世紀末から、大名や大商人によって、東南アジアとの貿易がさかんに行われるようになりました。しかし、江戸幕府の鎖国政策によって、貿易は制限されるようになります。この時代の外国との関係について、見ていきましょう。

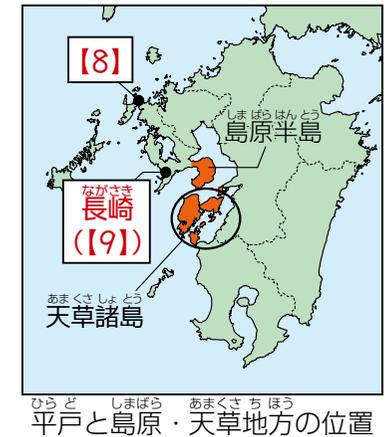


江戸時代初期の貿易

- 江戸幕府が発行した朱印状をもつ貿易船による、[7] 貿易がさかんになりました。外国に移り住む日本人も増加し、貿易がさかんであった東南アジアの各地には日本人の住む日本町がたくさんできました。

鎖国への歩みと島原・天草一揆

年	できごと
1613	全国に禁教令を出す
1624	スペイン船の来航を禁止する
1635	日本人が外国へ行くことと、外国から帰ってくることを禁止する
1637	島原・天草一揆（島原の乱）
1639	ポルトガル船の来航を禁止する
1641	[8] のオランダ商館を、長崎港内の [9] に移す



江戸時代初期の外交

- [2] …豊臣秀吉の [2] 出兵により、国交がとだえていましたが、徳川家康が対馬藩を通じて、国交を再開させました。[2] から、[10] が訪れました。
- [4] 王国（沖縄県）…中継貿易で栄えていましたが、17世紀初めに薩摩藩に征服されました。
- [1]（北海道）…松前藩が [11] との交易を独占していました。[11] にとって不利な交易であったため、1669年に [12] を中心に立ち上がりましたが、敗れました。

ポイント 貿易拠点をおさえておこう！

- 朱印船貿易により、シャム（現在のタイ）などに日本町ができる
- 鎖国下では、長崎港で中国・オランダとの貿易が行われる

入試ではここが問われる！

- 朱印船貿易について、地図に示された航路から貿易名を答えさせたり、日本町についての知識が問われたりします。
- 九州地方の地図から、長崎港や出島の場所を選ばせる問いが見られます。